

バストス週報

第1084号
昭和四十六年
二月十五日
発行

Director
Koiti Mori
Redator
Shion Oda
Rua Pres
Vargas 188
C. Postal 112
Fone 40
BASTOS
C. F.

Annual
Gr. #
20.00
Adian.

乱雲 8

爆発するか？

ここしばらく鳴りをひそめていた、噴火地帯が年越して間もなく、又もや紛乱の様相を見せはじめた。中東の方は二月五日スエズ運河地帯の停戦期間切れに当るので、戦火を噴かぬように、米のイアリング停戦案や国連筋では大変努力しているらしいが、アラブ連合側は、停戦協定を続行の条件としてイスラエルが六七年の六日戦争で占領した土地へシナイ半島、ヨルダンの一部から守備兵を撤回すべきである。それを公表しない限り、和平交渉には応じられない。という強硬方針を打ち出したので、停戦交渉は暗礁に乗り上げた形となった。

アラブ連合が交渉決裂に備えて空対地ミサイル、その他戦車と数万の兵を配布すれば、イスラエルもこれを迎撃する用意を完備し、万が一に備えているというから、停戦協定が成らぬ限り再び戦火の巷と化すは必定である。

こういう情勢を予知してソ連は、アラブ連合支援の声明を発し、アメリカの機先を制している。

去る一月のアスワソダム、イナグラソンにソ連元首が乗り込んで公表しているから、戦争に直接兵を介入はしないであらうが、あらゆる兵器を提供してアラブ連合を支援するだろう。

こうなってみると、イスラエルが自分だけで対戦できるとは思えない。前の六日戦争の時は事情が大いにちがっていたので、停戦協定の延期をのぞむ態度が強くなり以前のようには鼻柱はあまり強くない。それならば、アラブ連合が希望通り、占領シナイ半島を返還すると公表して、この難局を切り抜ける可きではないか。と思われるが、ここがイスラエル当局のネバリの頂上だろう。

イスラエルが占領地撤兵にこだわるのは、単独講和を期待し、それを有効に侵す材料としたかったが、相手がなかなかのつて来ない。ソ連あたりの支援をたよっているから「撤兵公表を先決せよ、でなければ停戦に応じない」と強硬になつてきて、講和どころか、返さなければ戦争のやり直しだという態度だ。

シナイ半島など不毛の地であるうが、イスラエル本国の二倍も三倍もの広い地

BAR HOTEL RESTAURANTE PRIMAVERA FONE. 92

ホテル・バール
食堂
森川悠一

電話九十二番



プリマヴェーラ

毎度ありがとうございます。
御宿泊と御食事に
御会食並びに御宴会に
御仕度と出張に、
御家族づれの御食事に
是非当店を御用命下さい

域なので、いざ戦争という時には、自国を守る外廊となり、首都カイロへの距離もぐつと近くなるから手放しがたいのであろう。関係諸国がイスラエルに向つて「返還したらどうか」と注意した話もきかぬし、イスラエルとしては将軍独立を脅かされないといい、という保証のない限り、ハイ、ハイと返事は出来ぬだろう。

もともと両度の戦争の発端はエジプト、アラブ連合とも戦争をしかけるように挑んでいたのは勿論、いやがら世をしたのであった。では、どうすればよいか、ソ連とアメリカが手を握り、「アラブもイスラエルもよく聞け、双方とも喧嘩をすれば吾々は承知しないぞ」と睨みをきかせばよいのである。虚心坦懐、これより手はない。

戦場移動

しげら、戦火がおさまって見るとかに見え、たインドシナ動乱は一月末頃から再び活発化しつつあるようだ。今や戦場は南ベトナムから西隣ラオス、カンボジア、か

らタイへ移りつつある。

昨年六月米大統領ニクソンは北ベトナム兵が南ベトナム北辺のカンボジア国境に集結して南ベトナムを衝く形勢となつたので駐南ベトナム米兵を期限付きで南ベトナムから北隣カンボジア国境へ進出せしめたことがある。各所に北ベトナム兵を攻撃して約束通り六月いっぱい主動隊は南ベトナム基地へ引きあげた。この攻撃で北ベトナム、ベトナムの兵力は戦をおさめて、北部へ引きあげたが、こんどまたラオス南部へ兵を進め、その数七万と稱するに到つた。

これがラオス、カンボジア、タイの開放と称して、戦火をひろげれば、三国は忽ち赤化してしまふであろうというわけだ。米国としては、これを看過できる情勢でなくなつた。といつて、又、駐南越の米兵をくり出すわけにはいかぬから、地上主力は南ベトナム兵二万、カンボジア、タイ兵五千を前進せしめ、米はもっぱら空軍をくり出して敵勢をくじくことになつた模様である。

しかし、共産軍七万に対して南ベトナム軍二万では、勝負になるまい。米空軍の威力は大したものがあるが、いかに装備の悪い共産兵でも七万とまれば相対の勢力である。インドシナ各国が政治的にも、軍備的にもよやく、ハイノの共産軍が一寸さきみに押し出してくれば、大脅威である。

米大統領ニクソンは戦場拡大は望まぬところだが、こう誘い出されては、あとに引けまい。米国の存論をさかたでしたくないが、面子にかけて拱手傍観も出来ない。今迄は南ベトナムさえ守つて居ればよかつたが、これからは、ラオス、カンボジア、タイと戦場が拡がり、まると敵の衝中にはまつた感である。敵の戦力を過小評価した誤算といつたものがいづまでも尾を曳く。

一月月停戦延長

いよいよ銚せり合いになつたところてキか這入り、二月四日にアラブ連合から停戦協定を三月六日迄のばしてもよいと発表があつた。かつてイスラエルのヤン国防相が西国ともイスラエルの三十三キロ程守備線を後退しようではないかといふ提案があつたのにわたりをつけたわけだが、イスラエルとしてもその程度なら譲歩してもよいと考へたらしく、三十日延期協定が成立した。もう一つ、当軍団はもとより世界中が安心したてある。アラブの方からは、その外、スエズ運河の再開を計り国際間の自由航行



養鶏家待望の合理的完全飼料配給

健康な鶏を育てることが養鶏成功の秘訣！

ラッソン、ツットラは完全無欠の飼料です。

そのまゝ使用できる完全配給。○フバだけに混ぜる様にしたものを。

その他 養鶏家のおこのみの配合にも応じております。

ツパン工場より直送ノ、係員参上の節は何分よろしく

CASA MAEYAMA

ランソットラ配給元

前山商店

佐藤 豊 電話 二六番

を許すと発表してゐるから外国の印象はよほど好転するだろう。

外交のかけ引きは、とことん迫押しの一手だがアラブのそれは中々強引な処がある。期限一はい頑張つてはらはらさせながら決裂は避けた。こんど三十日間になんかけ引きが行われる知らぬがイスラエルが一寸刻みに徹兵するとしてもアラブ側がそこへ進駐してこない限り戦争にはならないだろう。兩國とも戦争したくないのは自明の理であるがシナイ半島の帰属をめぐる競争がいつか行われぬとも云えないので、イスラエルのシナイ地方の放棄が和平の鍵となるのではなからうか。(葉音)

アホ口 14号の成功

一月三十一日午後四時にケーブケネデ一か打上げられたアホ口14号は二月五日午後六十八分月面フラマウ口高地に着陸した。シエバート船長、ミツチエル飛行士は三十三時間月面滞りて岩石採集その他重要な研究後六日午後三時四七分月面を離れ、地球へ帰還する。もう一つ、月旅行も三度目となる。それほど感激は受けにくい。アホ口連航は冷笑しているといふ、やたらに面白くないと見える。

黒人ドレイ秘話

佐藤 常 蔵

ドレイ女の眼球 (続き)

奥さんが、うやうやしく持つてきたお盆の白布をとった。セニョールは、口も利けない程驚いた。銀盆の上に気味悪く並んでいたのは二つの人間の眼球であった。おくさんは、いとも平然と、

「よく見ておきなさい。これはあのムラタの眼球ですよ。あなたがあまり美しいとほめたので、ファッカでえぐり抜いて持って来てあげたの」と言っただけだ。二つの眼球は、うらめしげに奥さんと主人を見つめているようであった。哀れなムラタの奴隷は、美しい眼をもつていたためにそれを失い、顔に大きな穴があき、さながら生けるばけもの同様となつた。今ならせめて義眼でも入れられるであらうが……

それから数か月過ぎたある夜半に、セニョールの奥さんは、両眼がひどく痛むといつて泣きわめいた。そしてついに翌日の夜明けを見ずに失明してしまつた。それはソコヒのような眼疾とも思われるが、かわいそうな奴隷女ののろいのせいかもしれない。と世間では語り伝えられた。それを反対によるこんだのはセニョールで、又別の奴隷女を邸宅に雇い入れて給仕をさせたが、あのムラタのような美しい目をもつた女は一人も見当りなかつた。目の見えない奥さんは、一層嫉妬心をつのらせ、そのため発狂して行方不明となつたが、ある日の夕暮に付近の潮水に死体となつて発見された。不思議にも彼女の眼球はくり抜かれていたといわれる。 終り

パラナ紀行

藤木 田 鶴子

この一文は下夫妻、息子夫妻の四人連れでヒ瀧見物に行った時の手紙です 糸 音

一月十九日(火)バストス出発、ランシマリアからアブカラナ、アラボンガ等、赤だちよいちよいと赤土の残る道を走り、マリソガで午朝食を済ませて、ウムアラマより一三〇K、名物ポエーラの道路をピツテ、ケーダスの町、グワイーラまで走り、夜に入つてやつとホテルに到着いたしました。そのちよつと手前で夕立後の低地の泥の中に大型、小型ヒ、八台引っかかかつて居り、暗闇の中で半時間程心配致しましたが、どうにかジグザ

グになり、突破することが出来ました。でもグワイーラのホテルの暑くて、蚊に悩まされた事、夏の旅には蚊とり線香一包み忘れない事だと思ひました。

翌日、二十日の朝涼しい中にと四キロ程の麓に向い、その名の通り、麓が幾つにも分れて居るので、三つも、四つも吊り橋を渡り乍ら見物致しました。その最も長いので百米近く有るでしょう。しがきがひどいので、お天気の良い日は、あちらこちらに小さい虹がかります。

麓の一番奥、マツト、グロツソ、パラグワイ、パラナを境とする両側の大森と悬崖、その間を奔流落下する大瀧の素晴うしさに、しばらく声もなく見とれました。妙ちやんは盛んにフィルムを撮ります。インスタント、ハイカイー句「

瀧しぶき吊橋わたる虹の中
見物を終えて、引きつづき赫土の道三三〇区南下、フォス、デ、イグワスへ。今度は長いです。

途中あちら、こちら舗装工事なれど、アスファルト道路が完成するのは二、三年後でしょう。此の方面は、あまりモグイメントもないのか、行き会う車も少く、だから工事もスローモと云う事でしょう。相変らずの暑さ、汗とボエラで四人とも背中は真赤。今夕は早くイグワスに着ける模様だから、シヨベーロを浴び

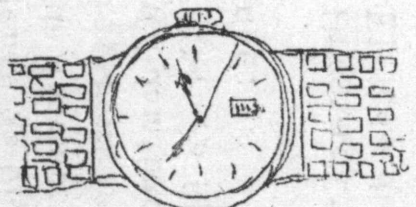
RELOJOARIA TAKATA

テクスス印

高級腕巻時計入荷

只今ラジオ、テレビで宣伝中の世界の高級時計、テクスス印を当店にて手にとつて御覧下さい

卒業記念 入学記念
進学記念 結婚記念
のプレゼントには、
◎テクスス印の時計を
お送び下さい。
貴った方の腕に堅牢無比のテクスス印が一生時を刻みつづけます。



時計 眼鏡 ヲビワ

貴金属 宝石 万年筆

ロードピアリオ前

高田時計店

電話 九十三

て、ゆっくり出来るわね、等と云い合っ
て居たら此の道はおだぶつ！それ急げと
許り、羔三、少し慌てたのか、ハンドル
を切り損なつたのかイグアス、一時間手
前の低地で、前日の雨のためでしよう、
お汁粉の様になつたぬかるみの真中に突
っ込んでしまつてエンコ。

シボレ、オパラ70の新車も哀れ傷つい
たドブネズミの如く。あいにく誰も通り
ない。今にも降り出し相な、しかも夕暮
れ。そこで羔三、エイノ、こつなつた
う捻力戦だりと、シヨルツ一枚になれば
、ヨシ来た、若いもんにも負けるかと許り
、チイはリウマチの膝がくがくさせなが
ら、ズボンをまくり上げ、バアも超ミニ
サイアの姿勇しく、妙ちやんは口引き結
んでハンドル据る。ホラニニニ、ブルブ
ルブルン、マイス、ブルブルブルン。一
期の力振り絞り振り絞り、どうにか車を
安全地帯まで押し出しました。顔も手足
も汗と泥まみれ、でも思はず、あゝ神様
有難うございますと叫んだ事でした。

あの格好もフィルムに収まっていますよ。
でも、どうにか七時頃にはイグアス市
に到着、シマレたレストラソで佇いたゴ
ホービの御馳走に有りつきました。ホテ
ルも、冷房装置がよく利いていて、あの
晩は皆ぐっすり眠れました。

叔で翌二十一日 木曜、町から十区走
るとイグワスの瀧だ相で、森の中の冷ん
やりした舗道をしばらく走ると、俄然、
視界が開けて、左手には全でお城の様な
高級ホテル、右手には木々の間から、世
界一の大瀑布イグアスとどろく落下
音と共にその壮麗な姿を現わしました。
全く筆舌に尽しがたい雄大な眺めです。
昔私が女学校の一年頃でしたか、教科
書で此の瀧の紹介文を学んだ事がありま
したが、以来正に三十五年目に此の大パ
ノラマを目に捕えたのです。

大きな溜息を吐き乍ら、感慨深く立ち
つくした幸でした。その規模といい、水
量といい、周辺の景色といい、これは社
観そのものです。

森林の果てに轟く大瀑布
心を残し乍ら先を急ぐので、フォアの
ホテルに引き返し、荷物をとりまとめて
正午には、すでにパラグワイ国境の検閲
所を通過、三〇〇区の舗道を一路首都ア
ンソンソン向け走りました。国境に掛か
っている白亜の美しい橋(瀧のずつと上
流になる訳です)は三〇〇米もあるでし
ようか。

今年の夏はどこも特別の暑さですが、
パラグワイは又格別でした。アスソンソ
ン向け道路の両側は真に貧弱、これとい
う農耕地もなく、やせたパスト、やせた林
相、所々に少し許りマンジョーカとミリー

Edital de Convocação

Assembleia Geral Ordinaria

Clube Agrícola Fartura

EDITAL DE 1ª e 2ª CONVOCAÇÃO

De conformidade com os Estatutos, o sr. Presidente do Clube Agrícola Fartura convoca e convida todos os senhores associados para comparecerem no dia 21 de Fevereiro de corrente ano (domingo) as 10 horas na sua sede Social (Secção Fartura) afim deliberar o seguinte:

- a) Prestação de conta
- b) Eleição de Nova Diretoria
- c) outros assuntos de interesse

Não se registrando numero-legal para sua instalação, a Assembleia Geral Ordinária será realizado duas(2) horas após, com qualquer numero de presentes.

Bastos 8 de Fevereiro de 1971
SIGEYUKI TOYOSHIMA
Presidente

総会御通知

来る一九七一年二月二十一日(日)
通常総会を左記により開催いたしま
すから、全員洩れなく御出席下さる
よう御通知申し上げます。

クルベ・アグリコラ クラブ

期日 二月二十一日(日)

第一招集十時 第二招集十二時
場所 クルベ本部(小学校)

議 事

- 一 七〇年度事業経過報告の件
 - 一 今年度会計報告及び承諾の件
 - 一 今年度事業計画
 - 一 役員改選の件
 - 一 その他
- 一九七一年 二月八日

クルベ・アグリコラ デ・ファルツィラ

会長 豊島重幸

畑・草葺屋根の小さい家など、ブラジル
の田舎に比べると、すべてがアトラザ
ト・資源の乏しい国なのでしようか。途
中すれ違つた車の数も僅かでした。夕方
六時頃アスンソン市に入り、例に依つて
ホテル探し、旅行案内書で探すのです
が此頃は休日で、旅行の季節だからでし
よう。どこの町でもツーリスト達でホテ
ルは結構繁昌の様です。冷房装備のある
家族室を見付け、荷物だけほり込んで、
土地の名産物店をみて歩きました。御存
知の通り、パラグワイは輸入税免除です
から、同じ物でも此方で買うより安の手
に入るのので、子供達や親親の者からの注
文品を買いに行つた訳です。

首都だけあつて、貧乏国としては意外
な程商品も多く、可成の市でした。半分
は観光客で保たれているのでしようか。
有名なパラグワイ、ビンガヤ、外国たば
こを高柳 吾さん、その他へ藤木が買つ
ていました。夜十一時になつても戸外は
まるでパンがまの中に居る様に蒸し暑く
、室内は、レストラン、ホテル共に冷
んやりして快適でした。ここで又インス
タントに一句

夏の夜や値切り買うつりスタの町
二十三日(金)早朝アスンソン出立、奥
は九時半までアスノホルンまで戻
れば、そこからエスクルソン、アルゼン
チンのボートに乗つて、対岸に渡れる様
になつていたのですが、国境、ブラジル
側でパラグワイの買物など調べられ、時
間をとりに、遂に間に合はず、此の度ア
ルゼンチン渡りをあきらめて、正午少し
前、フォアスでイグアス市に別れを告げ
、一路クリチーバ街道を東へ東へ飛ばし
ました。

此頃になると羔三もつかれを覚えて来
たのでしよう。ちよいちよい妙ちやんに
ギアを替つてもらひ、居眠りをしたり、
うしろに居る私達に肩をもんで貰つたり
し乍ら、午後二時頃カスカベル市に着
、木材の集散地みたいな親興の町でした
が、そこでおさいアルモッサをすませ、
一休みし、パラナ松の奇麗な林の点在す
る風景を切つて、妙ちやん仲々ギアがう
まく、一ニ〇位の飛ばして何台も追い抜
いて行きました。

前日のパラグワイ国道と違つて、車の
モヴィメントの多いこと、木材を積んだ
大型車が何台も、クリチーバ向け走つて
いました。両側も長く整つた農耕地、雑
作地、南パラナだからカヌーは見えな
かつたけれど、前日と比らべると林相も良
いし、すべてにゆつたりとした、豊かな
感じでした。

ボンタ、グロソソ市までフォアスから五
〇キロ走り、七時前到着。可成古くから

ある町なのでしようが、次第に市街地が
奥へ延びて行つて、新と旧との町の境い
目に大きな墓地があつたり、つまり昔は
そこが町外れだったのですが、町が延び
て行つて、将来はお墓が町の真中に成る
といふ。サンパウロ市でもその通りです
が、発展する新興国のこれは一つのシン
ボルとでも云いましょうか。

ボンタグロソサでその夜の泊りは、此
の旅での最高でした。その夜は涼しく、
静かな宿で、宿の人達も何か人情味厚く
、昨夜のアスンソンでの睡眠不足と疲れ
を充分取り戻した様でした。

二十三日(金)午前八時出発、少し先き
のグイラ、グイリアの奇岩見物へ。途中
小さいけれども美しい湖、ラゴア、ドラ
ード・フルナスの二つのほら穴、などを
見て、九時から二時間半程の間、何万年
か、何十万年かの風化作用で面白く彩の
変つた、珍らしい巨岩のたまたまを眺
めて廻りました。

グイラ、グイリアは小高い場所にあり
、周囲にはパラナ州政府の土地として、
何十アルケールでしようか、広くとつて
保護されていろうです。グイラ、グイ
リアの奇岩群の反対側にも、目下形成中
の奇岩のタマゴ共が群立して居ります。
今後何万年かの後はいみじくもマラビリ
ヨージの風景を作り出すかも知れません
そこで又インスタント、ハイカイ、
愛観の巨岩奇岩の影涼し
しろうとの即興句ですから、お見のがし
の程を。

Fabrica de Granito
Av. Rio Branco 515 Fone: 515 C. Postal 23
ADAMANTINA C. P.

日本式及ブラジル式
墓 碑 記念 碑
胸 像 石 燈 籠
もち白 その他
石材 彫 刻 一切
古い墓碑の修理も致します
アダマンチナ市リオリョ大通り

大西石碑工場
大西文吉
電話 五二五番

にありつく事。一同志を一つにして、熱心に尋ね廻り、やつとその目的に叶ったのが一時半でした。此処も矢張り観光客が多く、ホテルは何処も満員の状態、殊にサバドです。探し尋ねて、やつと落ち着いた所は、町の真中でシネマ館の真前。前日のボンタ、グロツサの静かさは、まるで手の平返した様で、おまけに、むし暑さと、蚊に責められ、はてな？、クリチーバ市とは、気候清涼、落着いた静かな町と聞き及んで居たのに、これでは聖市と同じ様なもんだと、幾ら悔んでも及ばず、その夜も遂に安眠返上、毎夜カーマの変わる旅の宿では、ま、仕方もないのでしようね。

妙ちやんの発言で、アルゼンチン行きを逃がしちやつたから、代りに汽車でパラナグワへ降り旅を楽しみましょう、と婦唱夫隨、チイ、バア達は、はい、もう若いもん達のお伴してどこまででもくっついて行きますよ、与えられた時間の限り、アプロベイトしなけりや損だよ！と許り、相談一決、明二十四日(日)午前八時、出立のエスクルソン、パラナグワと云う交通社をロードビオアリオで見付け出し、四人分申込んで、さてクリチーバ市の夜を少しは散歩致しました。

明くれれば旅の最後の二十四日、朝小型オニアスがホテルまで迎えに来て呉れて、クリチーバ駅で二輛連結の可愛遊覧汽車に乗り込みました。合計一二〇名、車中は清潔、清涼で、三時間の道中ずつとマーチ風の軽音楽を流して、これは乗客の心を明るく、そして和かにするカルマンテの様な役目をつとめて呉れます。エスクルソンですか、老人がら幼な児まで、アルゼンチンパラグワイ、又は遠くゴヤスから、様々な装いと顔形の人々の集りでした。トンネルをくぐり、切り拓いた岩石の間を辛うじて通り、美しい滝と見はるかす給谷、そぞり立つ絶壁と、その真下に澄み切ったセセラギ、又は標高千五百〇米の屹立した岩山などなど。遠く近く海岸山脈が屏風の様にその景色をかこみ、乗客の間から幾度か歓声が上がりました。正にスリルに満ちた山道の幾曲り、三時間半の道中、特に真中の一時間が素晴らしい、パラナグワ近く山を下りてしまつてからは、平凡な田中風景で、急に暑さかひどく応えて参りました。妙ちやんと羔三は、展望車よろしく汽車の運転室に這入込んで、さかんに撮影板を廻して居りました。(以下次号へ)

いけ花同好会の皆様へおしらせ。

来る二月二十八日夜八時より辻井、野口両先生御来植実況映画を石橋花道研究所にて映写する事になりました。御案内申上げます。豊島喜市氏の御提供によるものです。

バストス中央区会便り

バストス中央区会では去る一月十七日正十二時、定期総会をバストス綜合会館に於て開催し、次期役員が左の如く選出された。

- 区会長 上西 泰治
- 副会長 高田重利(會計) 森重清(書記総務)
- 第一区長 竹内清一 副 草野米吉
- 評議員 吉沢常夫 竹内務二 紙直八
- 第二区長 石橋三雄 副 野村喜一
- 評議員 飯沼 宏 鶴美 男
- 第三区長 宇都宮利郎 副 加藤義高
- 評議員 杉山寅藏 永吉久男 亀田久美
- 第四区長 杉 藤 介 副 友谷千之
- 評議員 大泉文弥 山内武彦
- 第五区長 小田健吉 副 田中 聖
- 評議員 相川 清 菊地武夫
- 評議員 島本繁雄 安達忠之助

その後当区会では一月二十二日(金)午後七時、森川食堂にて新旧役員顔合せ、親睦慰労晚餐会を開催し、事務引継ぎを為した。

- 1 前役員三氏に感謝状と記念品の贈呈の件。
- 2 最近中止状態にあつた奨学や慈善への働きを復活する件。
- 3 基本金作成積立の件。
(市役所より受取る金額を基本として将来、皆様の御協力に依つて会の収支を自立出来る様、協議した。)
- 4 一月一回日を定めて集り、役員親睦頼母講を催す件を継続する。
- 5 その他色々協議した。

次に二月一日(日)午後八時、正副区長を招集、森重サロンに於て役員会を開き、区会収支予算の編成に就て協議、検討を怠りした。

尚、当日、香典返しは、区会、並びに各区共に今後一切、受けない事に決定した。

御 礼
金 五百 コントス也

貴御両親前蔵物乃様の金婚式の記念として当会へ御寄贈下さいました。厚く御礼申上げます。

グロリア区婦人会
松 森 正 様
とし子 様

転任御挨拶

私ことこのたび本店指令によりマリリア南銀支店勤務を命ぜられましたので、急に二月十六日より先方に参ることになりました。省みますと、ツピー支店より御地に参りまして皆様より大変御引立を頂き、ようやく行務にも馴れ、御馴染もできまして、愉快に勤務出来るようになり、大変倅せと存じました処、今回の人事移動にて満三年を区切りとして御別れすることになりました。一々御挨拶に廻りかねますので、失礼乍ら紙上にて転任御挨拶を申上げます。

バストス南銀支店を去るに当り

水野ジョージ

各位

尚、家族は三月十日頃移転いたします。

パンの味

佐藤常蔵

パリに遊学中の義妹からの手紙に「フランスのパンはともおいしのです。だからバターをつける必要がありません。パリーの人は町をむき出しのままの長いパンを持ち歩くので、うっかりするとパンに突き当ります」とあった。これは面白い観察であり、またパンをうまく食べられるのはうまやましいことだと思つた。というのは、私はずいぶん久しい間、ほんとうにうまいパンを食べたことがないからである。これは一つには年齢のせいでも、食物について贅沢になつたためでもある。この頃のパンの味のまじいのはたれしも同感かと思う。およそパンがうまいのは製法もさることながら、原料の麦粉が純良だからである。この点ブラジルでは、第二次大戦の際の食料物資配給統制以来、何によりす純粋のものが食べられなくなった。麦粉にしろもあまり上等でないマシヨカ粉やこわれ米の粉が混ぜられてるらしい。従つて麦粉は純白でなくて暗白色である。これではおいしいパンがでるわけがない。こんな材料で焼き上げたパンを割つ

てみると、カホク口の膚を思わせるようなシロモノで見ただけで食欲がなくなる。他方、純粋な麦粉はファリンニマ、プーラと称して、一キロずつ包装して特に高価で売られているとはいかにも人を食つた話である。次にパンの製法であるが、昨今は高度の機械化で粉をこねるのからパン焼きに至るまで全部機械によるものも、パンの味をますますくする原因かと思う。パン焼きに薪をたくのはまだしも良いが、最近では電熱や燃料油を用いるのが多い。時には燃料油の臭みがパンについているのがあって閉口する。フランスのパンがうまいのは原料が純良であるばかりで、過度の機械化によらずして旧来の製法によるためと想像される。これはパンに限らず他のものにも言える。手打うどんがうまい理屈と同じだ。パンについて昔を思い出すと、私が農村にいた若いころは食欲が盛んであった。村にいた若いころは食欲が盛んであった。ためか、パンが何よりごちそうであった。とりわけ午後のトマカネーが楽しみであったのは、自家製のうまいパンが食べられるからであった。現在では農村でも自家でパンを焼かずに殆んど購入するらしいが、なんといいつても三十年前のいなかのパンは味がよかった。

以次号へ

俳句
仙人掌 二月作品

病葉やひっそりと逝く九十翁
失われぬ妻の若さよ茄子漬
病葉やフイゲール大樹町と古る
病葉や気温の記録日々新らた
茄子漬や酔えけ所望の海苔茶漬
病葉やサツペー屋根の休憩所
夜のしじま桐の病葉音立てて
フイジョンに茄子漬も出す移民宿
丸顔の娘ら競う桃 女王
梅漬というて桃漬買わさるる
病葉や自慢の蟹蘭ちぢみけり
〇病葉やサツペー屋根の休憩所
これは作者がレシスト口^な道鐘乳洞見物
に行つた時の句である。お疲れさまとい
うふうに、そこに休憩所があつた。いか
にも素朴な卓、腰掛なので、何気なく仰
ぐと、屋根はサツペ葺きであつた。
折柄赤い病葉(散葉)がハラの自然
に舞い落ちたという句意だが、山の自然

米子 竹馬
仙舟 仙舟
新雨 新雨
糸音 糸音
すわ 真水
丸女 丸女
札子 札子
北眠 一向

が画かれていて気持がよい。
〇夜のしじま桐の病葉音立てて 真水
桐の病葉だから大きい。それが夜の静
寂を破つて、音立てて落ちた、という
実感であろう。
作者の住居は静かなシチオだから、そ
のようなこともあろう。
〇失われぬ妻の若さよ茄子漬 竹馬
みずみずしい茄子漬の感じを描写しよ
うと、一心になつてゐる作者の姿が妻の
若さという表現になつたのである。
女房が若く見えるということとは人生の
幸福という可きである。
水野丸女さん送別句会
水野丸女さんがマリリアへムダンサされ
ますので送別句会をいたします
一日時 来る三月七日(日)午後七時半
会場 糸音居
兼題 新語 ハンカチ 晩夏 花マモナ
通してハカマナ
仙人掌 社

1971年1月分 バストスの気温と降雨量 フラタク製糸会社 測候部

項目	気温 °C	湿度計 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降水量 m.m.	風向	天候	雲量
1	30.0	27.0	75	33.0	22.0	17.7	N	☉	3
2	27.0	25.0	74	30.0	22.0	44.5	N	☉	7
3	23.0	22.0	90	28.0	20.0	4.3	E	☉	8
4	26.0	24.0	82	32.0	19.0	4.1	N	☉	2
5	22.0	22.0	100	29.0	19.0	1.0		☉	7
6	24.0	24.0	100	29.0	20.0	1.0	N	☉	8
7	25.0	24.0	90	30.0	20.0	2.1	E	☉	7
8	25.0	24.0	90	31.0	20.0	6.2	W	☉	5
9	28.0	26.0	82	33.0	20.0	2.0	N	☉	6
10	25.0	25.0	100	31.0	19.0		N	☉	7
11	25.0	24.0	90	32.0	20.0		N	☉	5
12	29.0	26.0	75	36.0	20.0	2.5	N	☉	7
13	27.0	25.0	82	34.0	20.0		N	☉	3
14	26.0	25.0	90	29.0	21.0	3.1	N	☉	8
15	27.0	24.0	74	33.0	18.0		N	☉	5
16	29.0	26.0	69	34.0	19.0		E	☉	
17	29.0	25.0	67	35.0	18.0		E	☉	
18	30.0	27.0	75	36.0	20.0		N	☉	
19	30.0	27.0	75	34.0	20.0		N	☉	
20	29.0	27.0	83	33.0	21.0		W	☉	3
21	29.0	26.0	75	35.0	21.0		W	☉	5
22	30.0	27.0	75	34.0	22.0		N	☉	7
23	32.0	28.0	67	36.0	20.0		N	☉	2
24	33.0	29.0	69	36.0	20.0		N	☉	
25	34.0	28.0	57	38.0	19.0		W	☉	
26	34.0	26.0	47	39.0	18.0		S	☉	
27	34.0	27.0	52	38.0	20.0	1.5	E	☉	0
28	30.0	26.0	68	36.0	21.0		E	☉	
29	30.0	26.0	68	35.0	20.0		N	☉	
30	31.0	28.0	73	36.0	20.0		N	☉	
31	32.0	28.0	69	34.0	21.0	2.4	N	☉	2
合計	885.0	798.0	238.3	103.9	62.0	19.8			3
平均	28.5	25.7	7.6	33.5	20.0				

日語校に保護を

近年邦新聞に時々散見する日語校について、いろいろ考えさせられることがある。その一つは聖市日語普及会に於ける高等科に属する日本語であつて、何万コソトかの資金（印刷費）を集めて本を作り、日本の高等学校程度の日本語の学力を備えさせようというものらしく、いわば日本語の仕上げのようなものである。サンパウロに於ては、そういう高級な読本も必要であらうが、一般には、実用的ではないように思われる。

田舎に於ける実情では、低級な日語（校）でも年と共に覚えていく情勢にあるのは、どうしたものであらう。田舎奥地と一般的な呼び方ではなく、わかり易く「バストス」に絞って研究してみよう。

日本語が話せて、日本語が読める人は、割合に多いが、書くとなると、これはぐっと範囲がせまくなる。現今日本でも大学生であり乍ら誤字や当字がまかり通っている相だから、コロニア内の語学力が落ちていくのは、やむを得ない。

ポ語を主として、日語をも残したいものと思つが、現下の情勢では、年と共に退勢に陥つてゆくようである。それには大きな理由がある。日語に対する愛情が、昔に比して低下していることである。自分の子供がカタカナくらい知っていなければ承知できなかつた親が、すつかり投げ出してしまつていく。なりゆきにまかせてしまつていく。これではいけない。なんとかしなければならぬといつた気配が失せているのではないかと思われるのである。

「否々」という声もあらう。けつこうな反撃だ。ただこれが一部の声だから困るのである。子供たちに、家庭内で日本語を使えといつても、もう無理な情勢に來ている。それ故、日本語を保存したかつたら、別に時間をかけて、日本語を学ばせるより仕方はあるまい。

その努力が不足で、熱意の欠如していることを指摘するのである。聖市附近は日本語習得が盛んであるが、それは聖市内の、又その付近の日系人の父兄が、日本語を愛護する精神に燃えている結果のあらわれであると思つ。ここを一考を要するところは、聖市とその周辺では、日語習得に関する便宜がどなわり、高級な日本語さえも、学ぼうとする意欲があれば、それを満たす設備があるのである。奥地ではそれどころではない。ことにバストスに於ける日本語勉強の意欲が、児童でなく、父兄に於て頗る弱いことを挙げて反省したいと思つのである。だれかが引張つていってくれるであらうという他力的な、フラッコな考えの親が多いのではなからうか。

勿論二世はブラジル人で、ポ語さえできればさしつかえないが、吾々は日系人であることを忘れたい。否、寧ろほこりとしなければならぬ。戦後の困窮を打破して、まがりなりにも経済大国にのし上る程の国民である。その国民の血を引いた吾々ではないか。祖国の血に對して誇り

をもつことを忘れるようには吾々であつてはならない。日系は日語に對する誇りと愛着を忘れてよいものか。そして熱意とはこりを持ってもらいたいのである。ところが、その心情のほけ先きである。やはり個人々々の希望や、行動はよわい。ブラジル国家に忠試であると同時に血脈のほどほれる祖国の文化を導入したいという、一段と高い希望をもぐさなければならぬ。ポルトガルや、イタリアの文化に加えて日本文化を織り込むことを考へたい。幸いに日本文化の高度性を伯国の有識者が認めてくれて、日本文化を高く評価してくれることは、誠にありがたいことだ。

この波にのつて日系人の子孫が祖国を認識することとは、何をおいても必要なことではないか。

しかし、日語を覚えてたい希望も実績も一人では学ぶことは至難である。適当な学習設備が必要である。このことについて私は、バストスの文協が現在の考え方を改め、もう一步進んで考慮する意欲を持つてもらいたいと思つのである。それは一口に云うと、日語校に對する考え方、わかりやすく云うと、経営の面に對して同情をもち、今少し援助を与える必要があるのではないかと思つ節がある。

きくところによると、全伯では三百三十校以上の日語校がある相だが、いずれも相當うまく経営しているが、それは、その地の文協なり、日系団体が被護を加え、経営が出来るように指導してやるからである。聖市方面では十一才以上ということになつてゐるが、奥地では十四才という古い語合があり、このための生徒数を制限されてしまつたのである。これはある程度の了解を受けて、それぞれ処理できる問題だといわれる。

これは一例であるが、経営の成り立つか、成り立たぬというきわどい線でもあるが、よその町との事情の相違もあらうが、このことについて文協指導者方の格段な理解を必要とするのではあるまいか。

こんど、小沢将男氏が日語一般の世話人となつたが、同時に文協副会長でもあるから、この辺から、よりよい考えを取り入れてもらいたいと願つたものである。

糸音

短歌

まっ白に視界閉ざして降りつのれ
猛暑と旱魃の傷いやすまで

勝甫

貸家

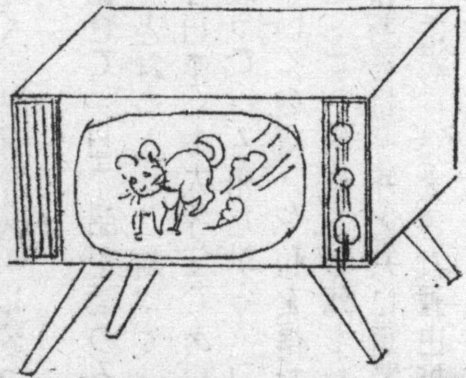
バンデイランテ組合 バランサの向側
木造建 四室

御希望の方は左記へ御訪ね下さい

八重樫家具店

電話 店舗六九・住宅二六三・工場一七五

ELETRORADIO ORIENTE



各種家庭用電気器具類一切

テレビジョン各種
ステレオ電蓄各種
 ラジオ・ピアノ・金庫・タイプライタ
 扇風機・ラシオ・トランジスタ
 冷蔵庫・洗濯機・グラブドール
 その他なんでもあります

カルサ市・エイトロ ペンテアード街 一—一番
八巻兄弟商会

カルサ電話 七三三番 郵函二七九番

御注文と御問合せは バストス市ツツケデカシアス街二八三番

代理店 **宇佐美宗一**

電話 オフィス ナ 一四六番
 住 宅 二一五番

Aviso de Cine Bastos

二月十六日(火)十七日(水) 両夜とも八時
執しゆうえん 浅岡ルリ子 芦川いづみ 守野重吉
 浅岡ルリ子百本記念、昭和三九年度芸術祭参加作品、原作、加茂萬子
 美しく清くありたい、むせび泣いて歓喜を叫びたい……光る素肌……

二月十九日(金)八時 二十日(土)九時半
灼熱の椅子 和田浩治 香川京子 菅井一郎
 本日は俺が殺る、暗黒街の栄光に賭ける必殺のルガー、好漢和田浩治がふちまひす豪華アクション！
 氷河を大滑走、海と草原を走る猛烈社員の出張に恋がスイング、南半球に豪華大ロケション敢行

二月二十一日(日)九時半 二十二日(月)八時
栄光への反逆 黒沢年男 田中邦衛 高橋紀子
 松原千恵子 三橋達也 岡田英治
 このベルトのため俺は何人殺したのだ、リングを捨てた不敗の王者が再び府野に求めた栄光と夢、

二月二十三日(火)二十四日(水) 両夜とも八時
黒いダイヤが俺を呼ぶ 小林旭 西尾三枝子 伊藤雄之助
 男の愛を破るのは、男の意地だためと、マインドガイアマラの怒が爆発する痛快アクション、
 芦川いづみ 吉永小百合 沢田光夫
 浅岡ルリ子 和泉雅子 内山賢

二月二十六日(金)八時 二七日(土)九時半
恐怖こそわが人生 松方弘樹 園田梨子 天知茂
 佐藤友美 内田良平 丹波哲郎
 殺すんじゃない、殺すんじゃない、ふんだくられるだけふんだくってやる、

二月二十八日(日)九時半 三月一日(月)八時
不良番長 梅宮辰夫 谷隼人
 丹波哲郎 南原宏治